

のり海況速報 第9報 (25-9)

平成26年 2月21日発行
千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/17：内湾(わかふさ)、2/18：内房北部(ふさなみ)
関東・東海海況速報(2/1-20)、東京湾口海況図(2/1-20)
自動観測ブイデータ(2/17-18)
モニタリングポスト(2/17：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1左)は平年より約2~3℃低く、17日現在ほぼ全域で8~9℃台前半になっています。塩分はおおむね27~32台前半で、千葉県側では14~15日にかけて通過した南岸低気圧に伴う降雪によって平年よりかなり低くなっています(図1右)。
- ・内房北部の表層水温もやや降下し、18日現在9~12℃台になっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は今月になって再びみられましたが、ここに来てやや弱まり、20日現在湾口部の水温は14~15℃台に止まっているもようです(図2)。

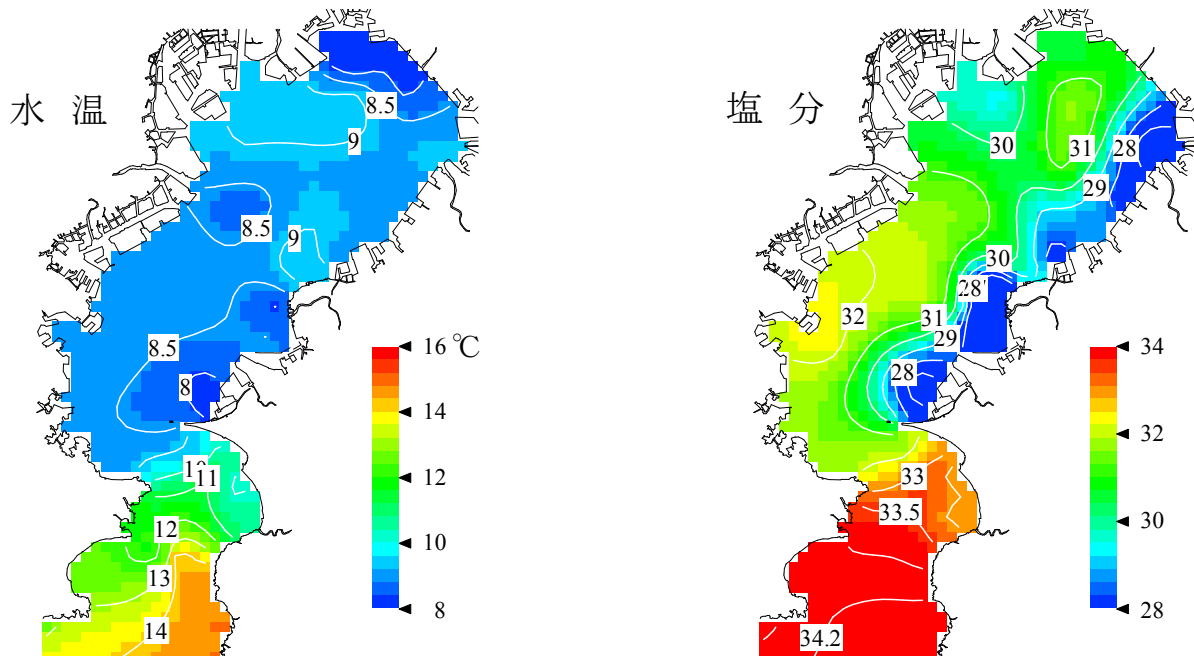


図1 表層の水温・塩分の分布(平成26年 2月17-18日)

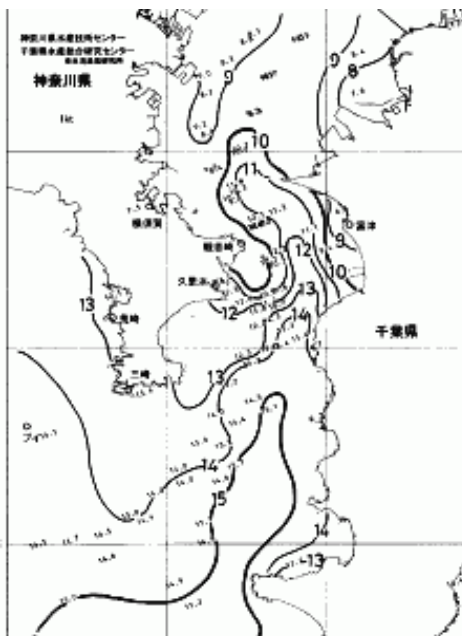


図2 東京湾口海況図の水温分布
(平成26年 2月20日)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していません。
- ・プランクトンは全体的に少なくなっていますが、千葉北部地区ノリ漁場付近では大型ケイ藻のユーカンピアがやや多くなってきています。
透明度は内湾で3m前後とやや低くなっていましたが、水色はおおむね緑から黄緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも十分あり、いまのところ、のり養殖にとって問題ない濃度です。

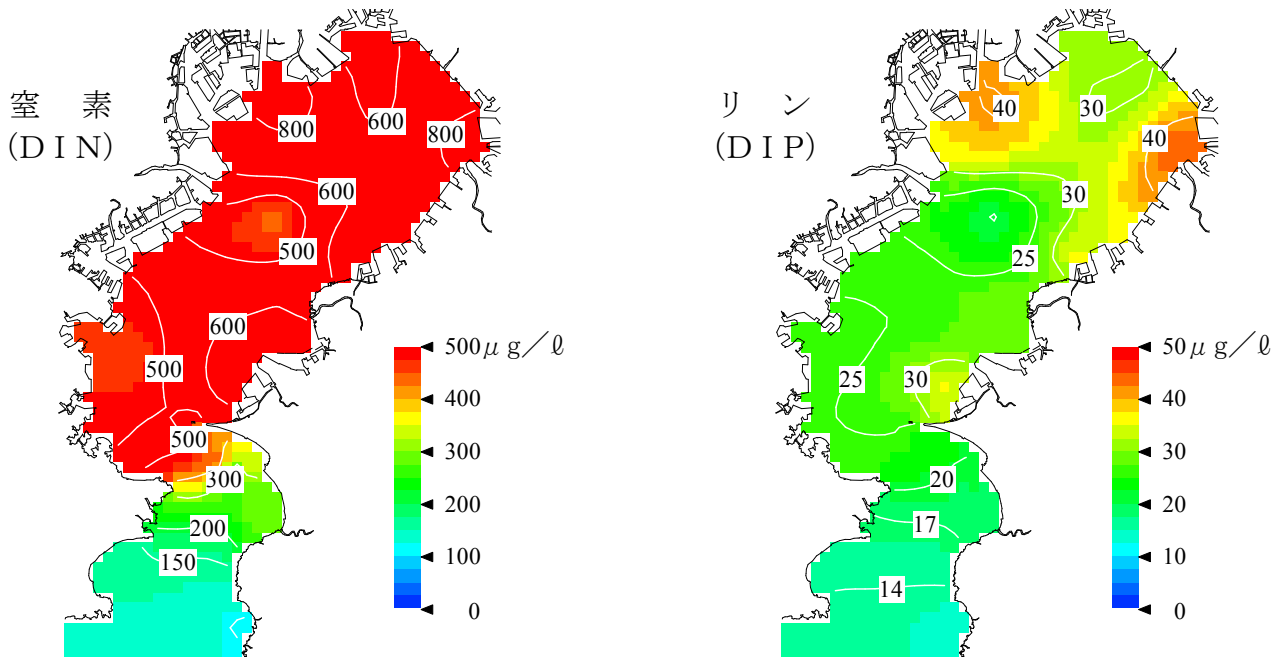


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成26年 2月17-18日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html